

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	山本 舜 講師
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜 3・4 限目 (10:45~12:15)
履 修 条 件	前期	募 集 人 員	5 名程度
教 室	大講義室		Tel:078-795-3322 Email: office-gk@kobe-kosen.ac.jp (学生課教務ライン)
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代が抱える諸問題や現代を生きる上で重要な論点の所在を理解し、その歴史的・思想的由来から問題を考え、矛盾なく意見を展開することができる。 ・哲学的な思考法に慣れて自己に対する考えを深め、批判的に思考することができる。 		
授 業 概 要	本講義では、現代が抱えるさまざまな問題や現代を生きる上で重要な事柄を、歴史・環境の観点から考察したり、広く思想・文化の内容を検討したりする中で、哲学的に考究していく。その際、必要に応じて特定の哲学者や思想家を参照する。		
授業時間学習以外の学習 (準備学習含む)	本科目の修得には、30 時間の授業の受講と 60 時間の事前・事後自己学習が必要である。授業内容を事後的に復習して関心ある個別問題を調査し、発表前の事前学習として発表準備に時間を割くこと。		
授 業 計 画	1	ガイダンス	
	2	「思想」と「文化」を考える	
	3	「教養」を考える	
	4	「善悪」を考える (1)	
	5	「善悪」を考える (2)	
	6	「自己」を考える (1)	
	7	「自己」を考える (2)	
	8	「科学」を考える	
	9	「言葉」を考える (1)	
	10	「言葉」を考える (2)	
	11	発表・検討会 (1)	
	12	発表・検討会 (2)	
	13	発表・検討会 (3)	
	14	発表・検討会 (4)	
	15	全体の総括	
評 価 方 法	成績は、レポート 30% 授業内課題 30% 発表 40% として評価する。現代思想文化論は現実の様々な問題に対応するための分野であるため、ペーパーテストではなく、個々の見解を総合的に判定できる「発表」に評価の比重を置くこととする。また、100 点満点で 60 点以上を合格とする。		
教 科 書	基本はノート講義となる。		
参 考 図 書	授業中に紹介する。また、適宜プリントや参考資料を配布する。		
特 記 事 項	適宜、個人でのワークやグループでの意見交換を実施するほか、授業の後半では思想・文化の諸問題に関するグループ単位での発表を課す。また、受講者の内容理解や進捗に応じて、スケジュールや内容を多少変更する可能性がある。		